

サンパール荒川 ラウンジコンサート

# アンサンブルトワソン

～管弦の美しき調べ～



フルート他笛 新原 輝美

武蔵野音楽大学卒業。在学中、福井直秋記念奨学金を得る。国立ドイツ北西ドットモルト音楽大学院に留学。在学中にドイツ・ホーンバウゼンで行ったコンサートでは、「聴衆に深い感動を与えた」とリビッシュ・エルンツァウアーに評される。同音楽大学院を最優秀の成績で卒業。帰国リサイタルを行い、好評を博す。大阪いずみホールにてコンツェルトをロイヤルチェンバロオーケストラ(故・堤俊作指揮)と共演。トッパンホールデビューコンサートオーディション合格、コンサートのライブ録音がBSデジタル放送で全国オンエアされる。また札幌、ラジオスズランジ、BSC30.1、湘南三チエFMに出演。その他多数のケニアルTVにもコンサートのライブ模様オンエアされる。横浜みなとみらいホールにおいて、日本におけるドイツ年、認証公演の第3回に続きドイツ連邦共和国大使館の後援を得て第4回リサイタルフルート&ハープの響き開催好評を博す。現在、国内各地でソロ、室内楽、オーケストラ等、精力的な演奏活動。及び様々なコンサートの企画・提案を行っている。またリコーダ、オカリナ、鳥笛等にも持ち替えてのコンサートは珍しく、色々な音色が楽しめる。特に好評を博している。これまでにトッパンホール、新宿文化センター(新宿未来創造財団)、赤坂区民センター、伊豆の国市、西新井文化センター、しま文化未来財団、妙高文化振興事業団、千葉市教育振興財団、川越市施設管理公社等の主催コンサートに出演。これまでに「博」ロコランド、ロコランド、三上明子、リビアルド、ミューズ、トッパンフェリックス、レイン、西田直幸、ジャズマ、井上信平の諸氏に師事。またM.デボスト、J.M.タンギ、M.M.コフラー、A.ニコレ、諸氏のマスタークラス修了。公益財団法人川越市施設管理公社KFP登録アーティスト、クワラウ国際フルートコンクールセミファイナリスト、東京国際フルートオーディションファイナリスト、BTHVNウィン国際音楽コンクールファイナリスト、2022年ロンドン国際音楽コンクール2位(1位なし)、2022年メデイチ国際音楽コンクール1位  
<https://terumiilamebaownd.com/>



チェロ 吉濱 綾伽

東京藝術大学音楽学部器楽科チェロ専攻卒業。堀江泰氏、松下修也、堀了介、藤原真理、木越洋、アンナ・ビルスマの各氏に師事。卒業後、日中友好協会の派遣で、北京、上海、広州を訪問。各地で交流演奏会に出演し、好評を得る。国際交流基金主催「アジア・アジア・オーケストラ」のアジアツアーに参加。アジア6カ国を訪問し、コンサートに出演。各国の音楽家とのコラボレーションも行い、その様子はNHK FMラジオでも放送された。並行してイギリスで「Channel Light Vessel」のメンバーとして、コンサート活動を行い、CDを2枚発表。アメリカ・ビルボード誌の上位にランキングされる。「Aska Strings」のメンバーとしてもコンサート活動を行い、自作曲を含むCDを2枚発表。ジョン・海山・ネプチューン(R/H)、福原左和子(準)、自身からなるグループ「Prism」でCDを発表、コンサートツアーも行う。宇多田ヒカル、THE BOOMのレコーディングに参加。玉置浩二、加山雄三のコンサートツアーに参加。ジャズ・ピアニストの板橋文夫のツアーに参加、レッド・ツェッペリンのジャパン・ツアー日本武道館公演に出演など、ジャンルを超えて多彩な活動を行う。日本ハイドン・アンサンブル首席チェロ奏者、フェリス学院大学音楽学部講師などを歴任後、イギリスへ留学。作曲とシユタイナー教育、音楽療法などを学ぶ。日本へ帰国後、東京文化会館において、自作曲によるピアノ・カルテット、ピアノ・トリオの作品展を開く。現在はソロや室内楽を中心とした演奏活動とともに、作・編曲や後進の指導にも力を注いでいる。  
<https://www.cloverglademusic.com/ryokayoshihama>



ピアノ 榊原 紀保子

鎌倉市出身。東京音楽大学器楽科卒業、同校研究科修了。大学在学中よりアンサンブルピアニストとして数々の舞台に参加しており、横浜市港南区民ホール開館5周年記念オペラ(伏の鳥〜ヤマト編〜)出演を皮切りに本格的な演奏活動を開始。2001年にチェコに渡りProf.A. Vlasakova氏の元で研鑽を積み、2002年・2005年にはTalich弦楽四重奏団とドヴォルザークのピアノ五重奏曲などを共演。アンサンブルピアニストとしての活動の幅を広げていく。ソロでは2004年かなつホールにけら落し公演としておこなわれた朗読とピアノによる(ドラマチック朗読コンサート)に出演、こちらは2016年に再演後、翌年2017年よりティアラこうとうにてシリーズ化され上演を続けている。現代作曲家との関わりも多く2006年に芥川龍之介作・木下敦子作曲(音楽物語〜蜘蛛の糸〜)を委嘱・初演。2003年からはオペラ・アターこんにやく座のピアニストを務め、47都道府県ほぼすべてで公演をおこなっている。この他にも松本幸四郎(現・松本白鶴)主演の舞台(アマテス)では2004年より音楽スタッフとして劇中のフォルテピアノ演奏など担当。チェコのヴィオラ奏者Vladimir Bukac氏とは2002年より共演を重ねるなどジャンルを問わない豊富な実績と日本人離れした体格から奏でられる色彩豊かな演奏は器楽・声楽を問わず国内外の様々な演奏家から絶大な信頼を寄せられている。これまでにピアノを土屋明子、久保田裕子、平塚久子、鹿目美智子、三浦捷子、川上昌裕各氏に、室内楽・伴奏法を御選興一、広瀬宣行、迫昭嘉、土田英介各氏に師事。PTNAピアノコンペティションG級全国大会入選、東京文化会館新進音楽家デビューオーディション合格、JILA音楽コンクール室内楽部門第1位、大阪国際音楽コンクール2台ピアノ部門第1位受賞。

事前  
申込制  
定員80名

2026年 6月17日(水) 12:10開演 (11:45開場)

ARAKAWA1-1-1ラウンジ サンパール荒川2階

入場無料・自由席 ※応募多数の際は抽選とさせていただきます。 ※都合により内容が変更となる場合がございます。 ※立見での観覧はご遠慮ください。

申込方法 申込締切 2026年6月8日(月) 申込結果発表日 2026年6月10日(水) 当選者の方に限り、メールで連絡させていただきます。 ※発表日に連絡のない方は抽選漏れとなりますのでご了承ください。

サンパール荒川 ホームページまたは QRより応募受付



一般の利用者の駐車場はございません。バス、都電などの公共交通機関をご利用ください。駐輪場は会館裏手(都電荒川線側)にございます。

ホールの案内 ■都電荒川線のご来館 東京メトロ千代田線・京成線 町屋駅より都電荒川線乗換 三ノ輪橋方面→荒川区役所前下車 徒歩約2分 ■都バスのご来館 JR日暮里駅東口より「里22」亀戸行き→荒川区役所前下車 徒歩約2分 JR西日暮里駅より「草63」浅草町行き→荒川区役所前下車 徒歩約2分 ■東京メトロのご来館 日比谷線三ノ輪駅下車 南千住方面改札を出て明治通りを王子方面へ徒歩約12分(荒川警察署向い)

主催 お問合せ 発行元 サンパール荒川(荒川区民会館) 〒116-0002 東京都荒川区荒川1-1-1 <https://www.sunpearl-arakawa.com/> 指定管理者 / 株式会社ケイミックスパブリックビジネス TEL:03-3806-6531 FAX:03-3801-5160 ■開館時間/9:00~22:00 ■休館日/12月29日~翌年1月3日

